

山形大学医学部 教育研究診療支援基金への ご協力について

— 『次世代型医療用重粒子線照射装置研究開発事業』に向けて—



山形大学医学部では、重粒子線がん治療による地域の福祉の向上・発展のために、寄附金の募集を行っております。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

山形大学医学部



山形大学医学部
YAMAGATA UNIVERSITY FACULTY OF MEDICINE

山形大学医学部教育研究診療支援基金へのご協力について
— 『次世代型医療用重粒子線照射装置研究開発事業』 に向けて —

謹啓 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、常日頃より、山形大学医学部の運営につきまして特段のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

山形大学医学部では過去10年以上にわたって東北がんネットワークの設立・運営を始め、重粒子線がん治療施設の導入に向けて取り組んでまいりました。

重粒子線がん治療は、日本の優れた“がん医療”と科学技術の融合による高度な放射線がん治療です。いわゆるX線ではない、炭素原子から電子をはぎ取った「炭素イオン」を用います。これを加速器で光速近くまで加速させ、体の外から体内のがん腫瘍を狙い撃ちする治療法であり、「体に優しく、治療効果が高い」という、理想的な特性を備えており、放射線医学総合研究所等での優れた多くのがん治療実績があります。

附属病院敷地内に重粒子線がん治療施設を設置し、研究開発施設としてがん医療の高度化、国際展開、人材交流・育成を使命として、地元の福祉向上・発展に貢献してまいりたい所存です。

重粒子線がん治療施設は、現在、関東や西日本にはいくつかの施設がありますが、東北地域は空白地帯となっており、山形県民はもとより東北全域の皆さまのご利用を前提とした施設を計画しています。そのための病院間ネットワーク構築も進めています。

本施設設置には、150億円の建設資金が必要であり、基本的に国に予算要求していくものですが、地元の自治体・企業・住民の皆さまの計数十億円の資金面でのご支援が不可欠な状況です。

何卒、本基金の趣旨にご理解、ご賛同いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

山形大学医学部参与 嘉山 孝正
山形大学医学部次世代型重粒子線治療装置研究開発室長

山形大学医学部長 山下 英俊

山形大学医学部附属病院長 根本 建二

記

一、山形大学医学部教育研究診療支援基金

目的：本学部における教育支援、教育環境の整備充実、先端研究の推進、先進的な医療や高度医療の推進、療養環境の改善、医療人の育成等の活動支援のために使用する。

※ **本基金は税制上の優遇措置の対象**となります。また、ご承諾いただければ、**1万円以上**ご寄附いただいた方々のご芳名をプレートにして施設内に掲示し、永く本学の歴史に刻まさせていただきます。